

【松本市SDGs未来都市計画概要】

タイトル:三ガク都まつもとSDGs未来都市 ~自分らしく生きるジェンダー平等のまち~

全体計画の概要:ジェンダー平等を都市に不可欠な社会インフラとして位置付ける中、地域資源を最大限に活用した循環型社会へと三ガク都まつもを「シンカ」させ、一人ひとりが、ありのままの自分を大切にしながら、豊かさを実感できるまちを実現する。

1. 未来ビジョン

地域の実態

2030年のあるべき姿

- 資源** 〔岳〕山岳、自然 〔楽〕音楽、文化・芸術 〔学〕学問を尊ぶ気質
- 人口** 自然減が進む一方、社会増のプラス幅が増加傾向
- 課題** 人口定常化、脱東京一極集中、地域の担い手確保、温暖化対策

- 地域特性を最大限生かした循環型社会の実現
➔ 3ガク都・松本の「シンカ」
- 「人口定常化」の実現

2030年のあるべき姿の
実現に向けた優先的
なゴール・ターゲット

【経済】楽都松本のシンカ



【社会】学都松本のシンカ



【環境】岳都松本のシンカ



自治体SDGsに資する取組

- 経済**
 - 多様な人材の活躍と働き方改革の推進
 - 魅力溢れる「稼げる」まち
 - 世界に冠たる山岳リゾート形成
- 社会**
 - 安心して生み育てられるまち
 - 意欲と個性が発揮できるまち
 - 多様な主体の社会参加の推進
 - ジェンダー平等社会の実現
- 環境**
 - ゼロカーボンシティ
 - 3R徹底による環境負荷軽減

情報発信

- 【域内向け】
 - ▶市公式HP、SNS、YouTubeチャンネル
 - ▶市政広報番組、FM放送
 - ▶経済団体、金融機関、SDGs推進企業との連携
- 【域外向け】(国内)
 - ▶地方創生SDGs官民連携プラットフォーム
 - ▶SDGs未来都市との相互発信
 - ▶移住希望者向けサイト等での情報発信
- 【海外向け】
 - ▶姉妹・友好都市等との交流を通じた情報発信

普及展開性

- ▶少子高齢化や人口減少、東京一極集中の是正、地球温暖化対策は、地方都市に共通する課題であり、他地域への普及展開が期待できる。
- ▶「ジェンダー平等」は、自治体規模の大小に関わらず、社会全体において目指すべき標準的なインフラであり、女性を始め多様な人材が活躍できる社会を構築するための取組みは、様々な背景を持つ地域への普及展開性が高い。

各種計画への反映

- 松本市総合計画
- 第4次松本市環境基本計画
- 第5次松本市男女共同参画計画・女性活躍推進計画
- 第3次松本市多文化共生プラン
- 今後策定する計画

行政体内部の執行体制

- 市長、副市長、教育長、部長級にて構成する幹部会議を「(仮称)SDGs未来都市推進本部」と位置づけ、SDGsの推進に向けた庁内の取組方向性や状況の共有を行う。
- 庁内調整、情報共有等の業務及び民間企業等との推進を総合戦略局総合戦略室が担う。

ステークホルダーとの連携

- 松本平ゼロカーボン・コンソーシアム
- 連携協定締結企業
- 地域の学術機関
- SDGs官民連携プラットフォームへの参画
- 脱炭素先行地域間の連携
- 姉妹・友好都市 他

3. 推進体制

自律的好循環の形成へ
向けた制度の構築等

- 長野県SDGs推進企業登録制度への登録推進
2018年に長野県がSDGs未来都市の第1号に設定され、企業等のSDGs推進登録制度を全国に先駆けて創設していることから、本市においても認定企業の優遇や連携企業と協力したセミナー開催など、制度の推進に協力している。
- 企業版ふるさと納税制度を活用した企業へのPR